



中部大学春日丘高校
平成28年度 第2回 運営指導委員会
開催報告

● 運営指導委員会の開催

SGH指定校は校外に運営指導委員を委任することが定められています。本校では春日井市の企業、行政機関、教育機関などに運営指導委員をお願いし、取り組みについて報告し助言をいただいています。3月4日(土)には本年度第2回の運営指導委員会を開催しました。

◆ 日時

3月4日(土) 11:00~11:50 (発表会 12:00~12:30)

◆ 出席者

外部指導委員 5名

木野瀬印刷株式会社 木野瀬 吉孝 委員

CKD 株式会社 河口 悟 委員

名古屋市立大学 別所 良美 委員

春日井市教育委員会 山田 勝史 委員

春日台特別支援学校 椎葉 林蔵 委員

(欠席 青年海外協力協会 佐々木 学 委員)

二村校長、太田副校長 ほか11名

◆ 運営指導委員会議事内容

1、学校長挨拶

校長より日頃のお礼と本校の現状について説明しました。

2、平成28年度 SGH 事業報告会(12月)のアンケート報告

12月に開催した事業報告会の参加者アンケートの結果について主任の星野が説明をしました。

事業報告会を行うことで、おおむね本校の取り組みを理解してもらえた一方で、アンケートで「根拠、データ、出典などが不明確である」「身内の集まりであった」などのご指摘をいただいたため、改善していくことを報告しました。

外部指導委員の方々からは、「フィールドワークは大切だが、調べ学習の内容を議論するプロセスからも学びがある」「地域のNPO団体などと連携していけるとよい」など、効果的・効率的に研究を進めていける方法について意見をいただくことができました。グローバルな課題に目を向けながら、地域に密着して活動していく『グローカル(グローバル+ローカル)』の必要性を改めて感じることができました。

3、平成29年度 SGH 事業計画について

3年目となる平成29年度の事業計画について報告しました。2年間で作ってきたカリキュラムを、さらにブラッシュアップさせていき、教員向けにオリジナル教材を作成する予定です。また、プナブール高校(インドネシア)との新たな交流プログラムの計画や、イングリッシュプレゼンテーション・ロジカルシンキング・クリティカルライティングの3教科についても、説明させていただきました。

外部指導委員の方々からは、「相手の考え方や文化を取り入れていくファシリテーション能力を身につけると良い」「東南アジアだけでなく、日本企業に一番多くいる中国人との関わりも視野に入れると良い」などのご意見をいただきました。また、政策提言を行っていくにあたり、企業や行政とのかかわり方についても多くの情報をいただきました。

教員だけで考えていては視野が狭くなってしまう現状に対し、外部指導委員である企業・行政・大学・教育団体の皆様から様々な意見をいただくことで、SGH活動が広がりを見せ、より深まっています。今後もいただいたご助言を活かし、よりよいカリキュラムを作成していきたいと考えています。

◆ 国際コース2年生の成果発表を見学

運営委員会終了後、国際コース第2学年が研究の成果発表としてプレゼンテーションを行っている授業を見学していただきました。

国際コース第2学年は1年間のゼミ活動で研究を深め、論文を作成しました。テーマを設定することの難しさや調べ学習の大変さを乗り越えて、未熟ながらも文章にまとめることができました。今回は論文の内容を4分程度のプレゼンテーションにし、クラスメイトと啓明コース第1学年に向け、発表しました。外部指導委員の皆様にもこの発表を見学していただきました。

